



南米でJICA研修員が大活躍！ ～帯広から～

1998年から帯広で開始された都市計画・土地区画整理分野の研修コースは2008年まで続き、南米アンデス5ヶ国(ボリビア、コロンビア、エクアドル、ペルー、ベネズエラ)からの参加総数は約103人にのぼります。

貧困層の居住環境改善に日本の土地区画整理技術を応用しようと取り組んでいるボリビアの帰国研修員、帰国後すぐにアクションプランに従い、自分たちの環境に適したやり方で土地区画整理事業に着手しようとしているペルーの帰国研修員。決して順風満帆ではないものの奮闘している帰国研修員の活動を支援するため、帯広が所管となり技術協力プロジェクト「都市計画・土地区画整理事業」を2003年から実施してきました。このたびプロジェクトの終了に伴い、北海道大学の教授、帯広市役所の職員などが現地へ赴き、帰国研修員の活動の成果を確認してきました。

(JICA帯広 木村)

JICA帯広(帯広市西20条南6丁目1-2) Tel.0155-35-1210 FAX.0155-35-1250



帰国後も奮闘する研修員たちと



『アースデー函館2008』開催報告 ～函館から～

4月19日(土)～22日(火)の4日間、函館市元町地区の3カ所の会場において【アースデー函館2008】が開催され、延べ300名以上の参加者で賑わいました。

アースデーイベントは、函館では今年で3回目を迎え、地球の環境をみんなで考えようよ！をスローガンに、より地球に優しくあるために私達がどうあるべきか？を地域の団体・若者が集まって実行委員会を立ち上げ、企画・運営するものです。JICAは地球環境をテーマに、リサイクル商品の紹介や流れがわかるパネル展示の他、環境にやさしいものづくり(リサイクル物品)講座などを担当し、留学生や地域の多くの方々にお集まりいただき、環境問題に対する関心が深まりました。

(国際協力推進員(函館) 渡邊)

JICA函館デスク((財)北海道国際交流センター内) Tel.0138-22-0770 FAX.0138-22-0660



使わなくなった雨傘から、エコバックを作ろう！
ワークショップ



「どこの国!?うわぁ～こんなところにあるんだ～」 ～旭川から～

4月18日～24日まで旭川駅近くのアッシュ・アトリウムにて「青年海外協力隊パネル展」を行いました。ガラス張りの会場ですので、内側・外側からもパネル展の様子を見ることが出来ます。様々な国の写真を眺めながら、特に旭川出身者OB・OGのパネルの前で足をとめて見学している方が多かったです。同じ出身地ということで、隊員が活動するような遠い国でも身近に感じることができていたようです。

(国際協力推進員(旭川) 石井)

JICA旭川デスク(旭川市役所第3庁舎国際交流課内) Tel. & FAX.0166-27-1590(直)



アッシュアトリウムでのパネル展の様子



「笑顔は世界共通だと思った」 ～平成19年度オホーツク国際フェスタ～

3月2日(日)、北見工業大学で北見国際技術協力推進会議主催「平成19年度オホーツク国際フェスタ」が開催されました。JICA青年研修事業で中央アジアから来北中の研修員24名も参加。休憩コーナーには研修員提供のお茶やお菓子が並び、研修員と交流した市内の高校生は「英語はわからなかったけど笑顔は世界共通だと思った」とにっこり。午後からのアフリカンパーカッション・奄美しまうたコンサートでは、市民・研修員・在住外国人みんなで踊って盛り上がりました。今年度は7月5日に、更にパワーアップしたフェスタを開催予定。お楽しみに！

(国際協力推進員(北見) 高橋)

JICA北見デスク(北見市役所市民活動課国際交流係内) Tel.0157-25-1105 FAX.0157-25-1016



ファッションショーで民族衣装を披露してくれた研修員たち。左からカザフスタン、タジキスタン、キルギスタン